

No	35
指標名	術後せん妄推定発生率
定義	$\frac{\text{(分子) 分母のうち術後7日間にせん妄治療薬投与のある患者数}}{\text{(分母) 全身麻酔手術の前7日間にせん妄治療薬投与のない入院患者数}}$
結果	<p>2019年度</p> <p>(当院)2019年度における当院のデータ (全国)2019年度に実施した病院の中央値 (2020/04/25 時点) ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。</p>
コメント (解説)	<p>せん妄は、軽度から中等度の意識混濁に幻覚、妄想、興奮など様々な精神症状を伴う特殊な意識障害です。もともと脳の機能障害をきたしやすい高齢者に多いのが特徴であり、身体状態が重篤な進行・終末期のがん患者のほか、集中治療室への入室患者や侵襲の高い術後患者などに頻度が高いといわれています。</p> <p>当院の術後せん妄推定発生率は概ね全国値と同等となっています。</p> <p>せん妄発症の抑制のために当院で行っている予防策が奏効していると思われます。</p> <p>もし術後せん妄が発症しても評価と診断・分類を行い、治療とケアを行っています。</p>